都内私立中学高等学校

校長

【 初任者推奨研修会 】

環境教育担当教諭 理科担当教諭 殿社会科担当教諭 関係教職員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会会長近藤彰郎東京私学教育研究所長須藤勉環境教育研究会委員長村上精一(共催:公益財団法人東京都私学財団)

環境教育研究会「講演会」のご案内

「 持続可能な社会を創る学校教育とは 」

新緑の候、先生方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度は日本環境教育学会の会長であり、学習院大学で教育学を担当され、多くの教員養成関連の講義を担当されている諏訪教授を講師としてお招きしました。教授は日本、中国、韓国の環境教育界の相互連携のお仕事をされ、各国の民間団体、NGO、大学との協力関係を構築し、3国合同の教科書を作成されました。

最近では日本の若い人々にとっても、「希望」や「めあて」が持てるような持続可能な社会を構築していける学校教育の可能性について具体的で明確な提言をされています。高い理想の実現にむけて草の根運動に関わり、現場を重視される教授の実践活動は高い評価を得ており、その温和な語り口と笑顔を絶やさないお人柄は多くの人々を魅了しております。

高い満足度が得られる講演会になることと存じますので、担当教科や教職経験年数に関わらず、お誘い合わせのうえ是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

- 1. 日 時 平成30年6月25日(月) 18:00 ~20:00(質疑応答含む)
 - ※ 受付開始 17:30 より
- 2. 会 場 **アルカディア市ヶ谷(私学会館)会議室** ※裏面案内図をご参照ください。 千代田区九段北4-2-25
- 3. 講師 学習院大学文学部教育学科 教授 諏訪 哲郎 氏

【プロフィール】学習院大学文学部教育学科教授、日本環境教育 学会会長、専門分野:環境教育、東アジア比較教育

主な編著書『加速化するアジアの教育改革』(2005)、『沸騰する中国の教育改革』(2008)、『持続可能性の教育』(2015)、『学校教育 3.0』(三恵社、2018)。

編集責任:『日本環境教育辞典』(日本環境教育学会編、2013)、『アクティブ・ラーニングと環境教育』(日本環境教育学会編、2016)。



- 4. 内 容 新学習指導要領では、前文に「持続可能な社会の創り手」を育てることが明記され、 高等学校の社会科系のすべての必修科目の大項目に「持続可能な社会」が登場していま す。しかし、新学習指導要領の全体を見た場合、「資質・能力」が強調されています。 学校が学習者の「資質・能力」を重視することは当然のことと思われがちですが、新自 由主義的な競争の原理、自己責任の論理に基づくもので、様々な弊害を生み出していま す。これからの持続可能な社会を創る学校教育とはどのようなものであるべきかについ て、「学校教育3.0」という大きな潮流の変化という観点からの提起です。(諏訪氏より)
- 5. 定 **30名**(申し込み順 ⇒ 定員になり次第締め切ります) 員
- 6. 参加費 無料 (当協会会員各校の拠出金と(公財)東京都私学財団からの補助金で運営しています)
- 7. 申込方法 **6月18日(月)まで**に下記宛 Web もしくは FAX にてお申込みください。 URL http://k.tokyoshigaku.com 東京私学教育研究所 検

東京私学教育研究所 環境教育研究会 担当: 岡沢·横山 TEL 03-3263-0544

FAX 03-3263-0560

索

《案内図》



■交通のご案内

地下鉄 有楽町線・南北線 187 市ヶ谷駅(1またはA1)出口

地下鉄 新宿線 市ヶ谷駅 (A4またはA1) 出口

J JR中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅 上記改札・出口から徒歩約2分

切り取らずにそのままFAXしてください。送り状は不要です。

環境教育研究会「講演会」 参加申込書 〔 6月25日(月) 実施〕

学 校 名	氏 名 (ふりがな)	担当教科	初任者は○で囲む
			初任者

上記の通り参加申し込みいたします。

東京私学教育研究所 御中

平成30年 月 日

<u> </u>	攴					(E).

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略いたします。(本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です) 申込確認が必要な方は、下記にご記入ください。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する □	
理由等	FAX番号: